

今年度も実施します！

町民の皆さんが町内で宿泊すると1,500円割引

町民等宿泊促進支援事業のお知らせ

▶町民の方は下記町内宿泊施設での宿泊費が1,500円割引！

住み慣れたふるさとのまちでも、観光客として泊まることで新たな魅力に気が付くかもしれません。ぜひ、この事業を利用して、町内宿泊施設に泊まってみませんか。

※お1人につき5回まで利用可能です。

▶町民以外の方も次の場合のみ対象に！

町民の方の親族／町内の会社・事業所で働いている方／町内のサークル・団体の会員／町内学校のクラス会

※町民の方が一緒に利用されることが必要です。

※町外の友人、知人は助成の対象になりません。

▶利用券の交付場所

- 弟子屈地区／役場観光商工課・環境生活課(総合サービス室)
- 川湯地区／川湯支所

▶交付日時

月～金曜日(祝日を除く)の8時45分～17時30分

※利用券の使用期限は、発行後2週間までです。利用日を確認の上、申請してください。

▶利用券の書き方

利用者の名前 住所(町外は市町村名まで)

申請者(町民の方)

弟子屈 太郎	中央2丁目3番1号
弟子屈 花子	同上

申請者(町民の方)が紹介する方

弟子屈 次郎	釧路市
--------	-----

利用方法

- ①左記交付場所で利用券の発行を受ける。
- ②チェックイン時に利用券を宿泊施設へ出す。
- ③宿泊施設でアンケートに答えて1,500円割引！
※食事のみの利用では、助成は受けられません。

宿泊助成を利用できる施設

弟子屈地区

- アリスガーデン ☎482-7585
- うさの森 ☎482-4672
- 温泉民宿 北の大地 ☎482-4937
- 温泉民宿 美里 ☎482-1020
- きららの宿 すばる ☎482-2224
- ひとつぶの麦 ☎482-1177
- ピュアフィールド 風曜日 ☎482-7111
- ペンション ニューマリモ ☎482-2414
- ペンション ぼらりす ☎482-2622
- ゲストハウスゆうあん ☎482-2977
- ホテル摩周 ☎482-2141
- 摩周湖ユース・ホステル ☎482-3098
- 民宿 ましゅまる ☎482-2027
- 民宿 摩湖 ☎482-5124
- ペンション&コンドミニウムBirao ☎482-2979

川湯地区

- お宿 欣喜湯 ☎483-2211
- 温泉浪漫の宿 湯の閣 ☎483-2011
- 川湯観光ホテル ☎483-2121
- 川湯第一ホテル 忍冬 ☎483-2411

- 屈斜路湖荘 ☎483-2545
- 屈斜路湖ホテル ☎483-2415
- KKRかわゆ ☎483-2643
- コテージ ログハウス川湯 ☎483-2544
- 旅人宿 あさ寝坊 ☎483-2725
- ホテル 開紘 ☎483-2318
- ホテル パークウェイ ☎483-2616
- 名湯の森ホテルきたふくろう ☎483-2960
- ホテル川湯パーク ☎483-2611
- Art INN 極寒藝術伝染装置 ☎486-7773

屈斜路地区

- アトレーユ ☎484-2455
- ガストホフ ぱびりお ☎484-2201
- 屈斜路原野 ユースゲストハウス ☎484-2609
- 屈斜路プリンスホテル ☎484-2111
- ゲストハウス ていんくる ☎484-2122
- コタン温泉プチホテル丸木舟 ☎484-2644
- 三香温泉 ☎484-2140
- ペンション クッシュアレラ ☎484-3232
- ペンション チャトラン ☎484-2024
- 宿・花ふらり ☎484-2633

事業に参加して下さる施設を随時募集しています！

問い合わせ先／役場観光商工課観光振興係 ☎482-2940(課直通)

協力隊通信

炭田さん(右)
&
高木さん(左)



日々の活動
発信中！

地域おこし協力隊facebook(フェイスブック)

<https://www.facebook.com/teshikagachiikiokoshikyouryokutai>



たくさんの方が集まった協力隊の活動報告会

協力隊はリーダーではなく
地域が行う活動の起爆剤

だき、ありがとうございます。

報告会用の報告書を作成するため、昨年6月に着任してから10カ月の弟子屈暮らしを振り返っていたのですが、多くの方にご協力いただき、恵まれた環境の中で活動しているのだとあらためて感じました。

私が担当している南弟子屈地域活性化協議会での活動は、仮に私がどんなに優れたスキルやアイデアを持っていたとしても、協議会メンバーの皆さんと共に活動していかなければ成果を上げることができません。南弟子屈のことを何も知らない私が事務局として活動できているのは、南弟子屈のこと、弟子屈の歴史を教えてくださいと下さる皆さんがいるか

地域おこし協力隊の炭田晃希です。3月14日に2015年度の活動報告会を町公民館で開催しました。年度末の忙しい中、多くの方に

お越しいた

らです。そんな皆さんと1年かけて南弟子屈の将来ビジョンを策定できたことは、協議会の立派な成果だと思えます。来年度はさらに将来ビジョンを達成していくための取り組みを検討し、実施へと移行していきます。今まで以上に多くの方を巻き込みながら活動していきたいと思えます。新年度もよろしくお願ひします！

女性のついででもお話しさせていたいただきましたが、地域おこし協力隊はカリスマでもなく、将来のリーダーになるために存在しているわけでもありません。地域のさまざまな活動の起爆剤。新しい取り組みのきっかけではありますが、皆さん自身もまだまだ勉強中ですが、皆さんと一緒に弟子屈について考えて行動していきたいと思えます。新年度もよろしくお願ひします！

土地の食材と味わうことで ワインの魅力が最大限発揮

地域おこし協力隊の高木浩史です。

この原稿を書いたのは3月初旬でしたが、暖かい日が増えてきて、少しずつ春が近づいているのを感じます。ブドウの新芽が芽吹くのはまだ先のことですが、他の植物は気温の変化に敏感のようです。旧昭栄小学校に今年から植え付ける予定のバラの挿し木は、新芽が目を追うごとに大きくなっています。北海道でのバラ栽培は初めてなので、この新芽がどのように成長していくのか楽しみです。

ブドウが休眠している間、私はというフェスタへの出店、弟子屈町のじゃがいもレシビ講習会の手伝い、ブドウ栽培のセミナー参加など、弟子屈町内外での活動のほかに、2016年度のブドウ栽培計画やワイン「葡萄色の巨」の提供方法について検討を重ねていました。「葡萄色の巨」は製造量がまだ少ないことから一般販売は行わず、今秋に町内で味わえる企画を考えています。

摩周湖をはじめとした雄大な自然の下で育った弟子屈産の農産物は、どれも素晴らしい個性を持っていると私は感じています。ワインはそれだけで味わうのではなく、その土地の食材と味わうことによって、魅力を最大限発揮できるものではないでしょうか。今秋の企画はワインだけにスポットを当ててのではありません。ワインを含めた弟子屈町の食材の魅力を引き出す内容にしたいと考えています。こちらの詳細については、5月の広報であらためてお知らせします。



地元産の食材を使ったおいしい食事と共に